

について、ご講演をいただきました。

シンポジウムでは高崎総合医療センターの佐藤正通先生、希望館病院院長の長坂 伊左男先生、きらり訪問看護ステーションの小林 ちしほ管理者より事例報告をいただき、医療介護連携のあり方について議論をいただきました。

さらに一般演題発表では、様々な職種の方からチーム医療・医療安全、地域連携、看護・ケアの質と評価、医療情報・経営・症例など24題の演題が発表され、活発な意見交換が行われました。このほかランチョンセミナーも2題行いました。

当日は166名の参加者を迎え、盛会のうちに終了いたしました。本学術集会の開催にあたり、ご支援・ご協力を賜りました関係機関の皆様方に心よりお礼申し上げます。



会場風景

第26回東京都支部学術集会

学術集会会長：社会医療法人慈生会等潤病院
理事長・院長 伊藤雅史

2026年2月14日(土)、東医健保会館にて第26回東京都支部学術集会を、約100名の皆さまにご参加いただき、盛会に開催いたしました。本学術集会は、「ICT活用と地域包括ケア」をテーマに掲げ、会長招待講演として、国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部教授、高橋 泰先生による「国の医療DX戦略の方向転換」について、示唆に富むご講演を賜りました。会長講演・特別講演を通しては、第一線でご活躍の先生方より最新の知見と豊富なご経験に基づく貴重なご講演を頂戴しました。また、一般口演では「看護・栄養」「地域包括ケア」「医療安全・教育」「経営管理」の4セッションにおいて、実践に直結する研究成果や先進的な取り組みが数多く発表されました。会場では活発な質疑応答が交わされ、参加者相互の学びと交流が一層深まる機会となりました。本学術集会の開催にあたりご支援・ご協力を賜りました関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

第17回大阪府支部学術集会

学術集会会長：公益社団法人大阪府看護協会会長
弘川摩子

2026年2月14日(土)にマイドームおおさかにて第17回日本医療マネジメント学会大阪府支部学術集会を開催いたしました。「ウェルビーイングの実現に向けた医療マネジメントの挑戦」をテーマとして、一般口演112題、特別講演、教育講演Ⅰ・Ⅱ、シンポジウムⅠ・Ⅱ、交流集会3題を5会場で発表いただきました。「よりよく生きるために地域で取り組むACP」をテーマとしたシンポジウムⅠでは、各領域で先進的役割を担う4名のシンポジストにより議論が交わされました。ランチョンセミナーも5会場で開催し、さらに武蔵野大学ウェルビーイング学部長の前野隆司氏による教育講演Ⅱ「ウェルビーイングの高い社会とは～幸福学の観点で分析する～」など興味深い講演に、各会場には多くの聴講者が集まりました。当日は654名の参加者がありました。

本学術集会を開催するにあたり、ご支援とご協力を賜りました関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます。



会場風景

第18回兵庫県支部学術集会

学術集会会長：独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)
神戸中央病院病院長 松本圭吾

2026年2月14日(土)、「激動する社会と地域医療～変えるものと守るもの～」をテーマに、日本医療マネジメント学会第18回兵庫県支部学術集会を神戸国際会議場にて開催し、兵庫県内外から514名に参加いただきました。

特別講演では「高齢者急性期医療をどうする?～ポストコロナ・超高齢化社会のなかでの病院経営～」と題して、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)理事長の山本修一先生に、教育講演として「次のパンデミックにどう備えるか：COVID-19が示した感染対策の知見と新たな実践」と題して京都府立医科大学教授 貫井陽子先生に、「医療チームの動的